



東金属株式会社

廃棄物リサイクルから再生可能エネルギーまで循環型社会の形成に貢献



太田市

住所 太田市新田反町131
TEL 0276-56-1121
Mail info@azumametal.com
URL https://www.azumametal.com
代表者 宮下 徹
設立 1955年6月28日
資本金 5,000万円
従業員 約80名(グループ含む)



企業紹介

1955年創業の当社は、「循環型社会を目指し、安全で健康な生活環境に貢献する。限りある資源の再利用事業(3R)に高い志をもって挑戦し、循環型環境社会との感謝と信頼の絆を創る」を経営理念として、鉄・非鉄スクラップ、廃プラスチック類、家電・小型家電等のマテリアルリサイクルをなりのわいとして歩んでまいりました。また、更なる展開として、廃棄物発電のサーマルリサイクルや太陽光発電など再生可能エネルギー等も手掛けることにより、「地球にやさしい総合リサイクル企業」を目指しています。

経緯・背景

当社は、1955年、まだ自動車が普及していないとき将来モータリゼーションが起こり、リサイクルが必要となることを予測し、鉄スクラップ業を始めました。その後群馬工場では、1993年に廃棄物中間処理業許可を取得し、鉄・非鉄のリサイクルを開始。2002年にはフロン排出抑制法の施行に先立ちプラズマ破砕機を導入、2017年にはプラスチック資源循環促進法の施行を見据え、リサイクルを開始するなど社会のニーズを先取りした環境ビジネスを展開してきました。今後も、未来を展望した循環型社会の形成に貢献していきます。

安全で効率的なリサイクル技術を追求

具体的な取組・成果

【鉄・非鉄スクラップ事業】

日本の都市鉱山蓄積量で、鉄は12億トン、銅は38百万トンとされています。当社は、使用済み家電、建物などの解体や廃棄物及び廃自動車等々の都市鉱山から、鉄は年間48千トン、非鉄は年間20千トンのリサイクルしております。また鉄の生産には、鉄鉱石と石炭を原料にして製造する高炉方式と鉄スクラップ(リサイクル鉄)を電気で溶かして製造する電炉方式があり、電炉方式は高炉方式に比べ、CO2排出量は1/5とされています。当社の鉄・非鉄スクラップ事業は、全て電炉方式で行い、地球温暖化対策にも寄与しています。

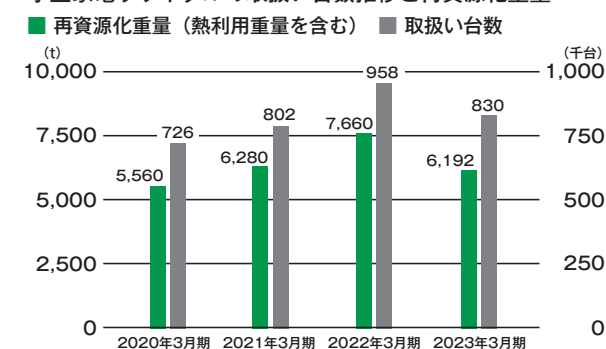
【家電・小型家電リサイクル事業】

日本の小型家電の廃棄量は、年間約10.2万トンとされており、当社(委託先含む)は、年間約7.2千トン(シェア7%)(R2年度実績)をリサイクルしております。また、機械による破砕前に非鉄、基盤、銅線、モーター、廃プラスチックの種類ごとに人の手で細かく解体・選別を行い高いリサイクル率を目指しています。



小型家電リサイクル工場

小型家電リサイクルの取扱い台数推移と再資源化重量



【廃プラスチック類リサイクル事業】

通常のリサイクルで発生した廃プラスチックは、混合状態で助燃材にしかありませんが、当社では種類ごとに細かく分別してから加工するため、グループ会社ヤマダデンキ店舗の買い物かごやリユース工場の生産パレットなどに再製され、循環利用されています。



廃プラスチックから買い物かごへ

【再生エネルギー事業】



太陽光発電所

当社にとってのSDGsビジョン

当社のSDGsにおける主目標は、「12.つくる責任 つかう責任」です。具体的には、「人が作った廃棄物は、人が管理できる場所で、人が設備を十分管理し、人が安心して生活できるまでに環境負荷を低減し、人が適切に処理(リサイクル)すること」を実行していきたいと考えています。

今後の展望と求めるパートナー像

今後、日進月歩でハイテクな商品・製品が作られ、いつか必ず廃棄物となることから、安全で効率的なリサイクル技術の研究は必須です。また、その技術を生かす人材も必要です。そのため、自治体、大学・研究機関、地域の皆様との協働を目指します。「産・学・官・民」の連携により、持続可能な循環型社会の形成を目指します。